

第1回懇談会での意見等に関する事務局(新潟市)の考え

<ビジョンについて>

資料3

番号	第1回懇談会でいただいた委員意見	事務局(新潟市)の考え
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来像の前提を20年後に設定した理由はなにかあるか。短期中期の目標設定を考えていかなければいけないと思う。</li> <li>・20年後の社会の予測は難しい。6Gの世界、カーボンニュートラルがどれだけ進むかと合わせて、このエリアの役割を具体化していかなければならない。市民や事業者にどういう認識を持たせるかでこのまちのビジョンは変わってくる。そういった議論をみなさんとしていきたい。</li> <li>・他の地域では3～5年での更新を前提にして作るやり方もあるので、検討してみてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅高架化の次の転換期として想定される駅周辺整備事業や老朽化ビルの建替え、バスタ新潟の整備、万代島ルートの整備、ゼロカーボンシティの実現が20～30年後には完了していると仮定し、その頃のエリアの姿を長期的将来像として描きます。</li> <li>・国連が掲げるSDGsの達成時期である2030年までは、世界的な方向性としてSDGsの達成に向かって動くものと想定し、大きな世の中の方向性が見えてきており、次期新潟市総合計画の設定時期でもある2030年を必要に応じて1つの到達点として設定します。</li> <li>・あわせて、今後3～5年の間に実施する短期的取り組みを検討し、PDCAを回しながら将来像の具現化を推進していきます。</li> <li>・将来の社会動向の予測に関して、【資料4】のとおり取りまとめました。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟県の港湾計画によって街の姿が変わってくるように思う。今回、直接関係ないかもしれないがイベントとしてはかなり大きい出来事である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度に改訂した新潟港港湾計画において、万代島地区は、交流拠点ゾーンとして位置付けられており、平成30年度に策定した万代島地区将来ビジョンに基づき、賑わいづくりに取り組んでいます。新潟駅・万代地区周辺エリアの役割として、新潟都心の都市デザインに掲載のとおり、花園ルートにおける駅から港へつながる雰囲気づくりや、楽しく快適にアクセスできる環境を創出することがあげられます。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料6で弁天通は夜の街というイメージが強いが、昼に営業している店舗も多い。現状認識が違うと導き出される結論が異なってくる。</li> <li>・駅の中と万代は昼が中心で、駅前の飲食店は夜が中心。駅前の弁天、花園はカジュアル、古町はおもてなしと、飲食店でも役割分担がある。個性を深堀するほうが街としての力が出やすいと思う。弁天通商店街の総意としては飲み屋街としてやっていきたい。</li> <li>・弁天通商店街には、安心して来ていただいて、安心して通行できる街中が発展するという伝聞がある。2核の円滑な通行というものに重きをおいている。</li> <li>・新潟は食とお酒のまち。食がおいしければリピートしたくなる。新潟はそれを目指していくべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見を参考に将来像を設定します。</li> <li>・市政世論調査の結果、新潟市に対する誇りや愛着を感じるものとして、農産物、海産物、料理、酒が高い割合であるのに対し、街の中心部は低い割合にとどまっています。(別紙参照)食と酒の要素をまちづくりに活かすことは、街の中心部への愛着の醸成につながるものと考えられます。</li> </ul>

4	<p>・第1回懇談会【資料6】で新潟駅がどういったコンセプトで開発されるかというのがまずあってしかるべきではないか。</p>	<p>・議事(3)で説明します。</p>
5	<p>・東大通、弁天、花園を一つのエリアとして考えたとき、一体感をもたせるには東大通の横断箇所が少ないので、一大スクランブル交差点にしてはどうか。そこをつなぐことで、弁天、花園、東大通が一体となってイベントをすることもできる。 ・東大通を「川」、横断歩道を「橋」と言っている。一方で、信濃川ではやすらぎ堤が拡張されてあれだけの活用があるので、東大通はそのような感じに近づいてもよい。</p>	<p>・ご意見を参考に将来像を検討します。</p>
6	<p>・このエリアでどんなプレイヤーがいてどんなアクションをしているのかという整理が今後あると良い。それによって将来像を実現するためのアクションにつながるし、このエリアはこんなアクションが足りないという話にもなるかもしれない。 ・エリアの中でどういう人がどういう活動をしているか、丁寧に洗い出しをし、どうい可能性があり、どういうビジョンを描いているのかを聴きながらエリアの可能性を深堀することができれば、もっと新しいことができるのではないか。</p>	<p>・【資料9】でプレイヤーの活動状況をまとめましたので、議事(5)で説明します。</p>
7	<p>・どんなまちづくりをしていくかは、ハードだけではなく、大店法のような規制・緩和の動きも含めて考えていきたい。</p>	<p>・まちづくりに関わる政策の動向を注視しながら将来ビジョンを検討していきます。また、アクションプラン(取組、実施計画)では、各種制度を活用した規制や、誘導の手法を検討します。</p>
8	<p>・移動、概念が変わる転換期に来ており、それをいかに正しくわかりやすく伝えるのか、それを忘れさせないように何回も伝える広報が大事。美しい絵だけを投げかけられても市民は我が事には感じられない。実感をもって自分も参加してやれそうだとされるような投げかけをしていけたらいい。</p>	<p>・将来ビジョンの普及啓発、まちづくりへの市民参加の鍵を握っているのがエリアプラットフォームであると考えています。本日の議事(7)でエリアプラットフォームに関する意見交換をお願いします。 ・また、市民参加についてはSDGs達成に向けた「さまざまなパートナーシップの経験などをもとにして、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップをすすめる。」という達成目標に照らしても重要な要素であると言えます。</p>
9	<p>・若い人が新潟に戻りたいと思えるようなまちづくりをしていくことが重要だと思う。そのためにはある程度都会化することが必要。若い人が戻ってくるようになれば民間も投資してくれると思う。</p>	<p>・U・I・Jターン経験者の視点からこのエリアに求めることを把握していきます。</p>

10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南口広場ができた当時、駅前広場でイベントができる仕組みはJR東日本管内では珍しい事例だった。しかし、そのときは運営の仕組みは作りきれなかった。そのときは違い、時代やルールが変わってきてやれることが多くなってきている。駅を中心としたまちづくりを目指して頑張っていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南口広場と新万代広場はエリア内における重要な公共空間であると認識しているため、各々が特色ある広場としてエリアの魅力向上につながる活用ができるよう、方向性や方策を検討していきます。</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・万代島ルートの整備によって自動車の機能分担をしていくことが「にいがた2km」の賑わい創出の前提だと考えている。「にいがた2km」の国道7号はいろんな可能性を検討できる場所だと考えている。「ほこみち」制度は道路行政としても大きなターニングポイントだと思っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期的将来像は万代島ルートの整備が完了し都心軸との機能分担がされることを前提に検討します。</li> <li>・ほこみち制度等、まちづくりにとって有益な制度は積極的に活用を検討していきます。</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人が集まってくるポイントを分析したところ、バリアフリーと近いものがある。障がい者だけでなく、例えばベビーカーを押すお母さんなどが訪れやすいところは人が集まってくる。そうった視点を持って議論をできるとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsにおける「2030年までに、特に女性や子ども、お年寄りや障がいのある人などを含めて、だれもが、安全で使いやすい緑地や公共の場所を使えるようにする。」という達成目標とも一致するため、重要な視点として取り入れていきます。</li> <li>・新潟市スマートシティ協議会と連携するなど、ICT技術の活用を図りながら人の動態を分析し、ウォークアブルなどの施策について考えていきます。</li> </ul>
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟にはプレイヤーが多すぎる。プレイヤーの受け皿となる場所が必要。誰が何やっても許容されるような場所が室内でも屋外でもあるといい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・賑わい創出に資するプレイヤーの受け皿となるポテンシャルがある場所をピックアップし、活用の方向性を定めていきます。</li> <li>・【資料9】でプレイヤーの活動状況をまとめましたので、議事(5)で説明します。</li> </ul>

<エリアプラットフォーム・エリアマネジメントについて>

番号	第1回懇談会でいただいた委員意見	事務局(新潟市)の考え
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マネージャーとプレイヤーは別組織であるべき。</li> <li>・プラットフォームがなんでもかんでもやってしまうとプレイングマネージャーになりうまくいかない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の議事(5)で意見交換をお願いします。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり会社という話になった時に収支の折り合いがつかかというところが、みなさん本音が話せないところ。もっと連携する意義を考えていかないとエリアプラットフォームやまちづくり会社にはつながっていかない。</li> </ul>	

1. 新潟市に対する誇りや愛着について

(1) 新潟市に対する誇りや愛着

調査地域：新潟市全域  
 調査対象：令和3年6月末現在の住民基本台帳に登録されている18歳以上の市民  
 標本数：4,000人  
 調査期間：令和3年7月20日～8月6日

問1 あなたは次の24の項目に対して、どの程度誇りや愛着を感じていますか。それぞれの項目ごとに番号を1つ選んで、その番号に○をつけてください。

